

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 4463
24年7月12日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

第13回定期全国大会開催 「奪われた権利を取り戻す」たたかひ



おはようございます。
7月5日・6日の2日間、東京労働会館ラパスホールにて「郵政ユニオン第13回定期全国大会」が開催されました。
全国各地から多くの代議員が参加した大会には長中局支部から向井書記長が出席。熱い

議論が交わされた全国大会の模様を報告します。

冒頭、中央本部を代表して日巻委員長が「物価高騰が続くもとで大企業が内部留保を積み増し続ける一方、労働者の賃金は物価高騰に追いつかず家計の厳しさが増えています。そうした中、第13回定期全国大会が開催されます。(中略)

会社は、今春闘の要求回答で、一般職と地域基幹職など1・2級の統合、定期昇給の廃止をはじめ扶養手当や退職手当制度など人事制度全般にわたる見直しを検討していることを表明しました。低すぎる一般職の労働条件の改善と合わせ、社員の多くが在籍する地域基幹職1・2級の処遇引下げを許さない立場から交渉に臨みます。(中略)
郵政ユニオンは労契法20条最高裁勝利判決を勝ちとった労働組合として、世論と運動で「格差是正」「均等待遇」の大きな流れを止めようとする力に屈するわけにはいきません。そのためにも郵政ユニオンを強く大きくして、「奪われた権利を取

り戻す」たたかひに打って出る必要があります」と挨拶し、大会が開会しました。



今大会には全労協、全労連のほか、日本共産党から宮本議員が来賓として見えられ、暖かくそして力強い激励をいただきました。

本部からの報告の後で行われた討論では、地本や支部を代表した各代議員延べ40名が、活動方針や大会議案への補強を含め諸課題への対応を発言しました。

特に「春闘」「郵政を取り巻く情勢」「郵政関連労働者の状態」「非正規社員の待遇改善を求める取り組み」「一般職及びシニアスタッフの処遇改善を求める取り組み」「郵政労働者の権利を守る取り組み」などの項には多くの発言があり、活発な討議が行われました。

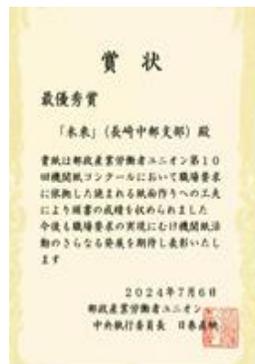
九州地本からは、「非正規社員の待遇改善を求める取り組み」の項で発言。

毎年秋には最低賃金が上がるから春闘では上げない、という会社回答は不正実対応としか言えず、断固として抗議するべき。ただ最低賃金が上がれば非正規社員の賃金も上がるのが現実なので、その運動に重点を置くべき。

福岡では自治体に最低賃金を上げる意見書を探択させる議会要請行動を行っている。現在、福岡県内で半数近くの自治体で意見書を採択させた。(福岡を地盤とする)麻生副総理が突然「最低賃金は1500円以上にしなきゃいけない」と言い出したが影響があったのではと考えている。今後も県下全ての自治体に意見書採択をさせるべく要請行動を続けていく、と報告しました。

また、会社の更改基準を超えた車両の早期更改及び電気自動車配備に関して、局舎事情で進んでないところも多い。会社として更改の進め方や電気自動車配備計画を質すよう求めました。

本紙が最優秀賞



支部機関紙「未来」が「第10回機関紙コンクール」で最優秀賞に選ばれました。

このコンクールは、郵政ユニオンの考えや活動を伝える宣伝活動としての機関紙の推進を図って行われているものです。

審査で「未来」は、週2回発行という頻度を生かした速報性に優れ、職場の動きや問題点、交渉報告など充実した内容が素晴らしい。と高い評価を受けました。



今後も皆さんの期待に応える紙面づくりに努めていきます。ご愛読をお願いいたします。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員の正社員化を。めげず、均等待遇を。なげない差別。ユニオンは労契法裁判に勝利を収めた。